

講演企画委員会からのお知らせ —1998年度春季大会の実施方式と分科会のコンピーナー募集—

1. 1998年度春季大会の実施方式

1997年度春季大会では、ポスターと分科会を組み合わせた新しい方式を試行しました。これを受け、今後の方針を講演企画委員会で検討した結果、大会会場で実施したアンケート（7月号474ページ参照）で新方式に好意的ないし中立的な意見が大半を占めたことを考慮し、1998年度春季大会も新方式で実施することになりました。

この方式の概要は以下の通りです。

(1) 一般の発表はポスター（1件1分以内の概要紹介つき）で行う。ポスター・セッションは、大会3日間の毎日、午前中に1回ずつ行う。なお1997年度春季大会と同様、ベストポスター賞を実施する。

(2) 特定のテーマに基づく専門分科会を大会1日目と3日目の午後に2～3件ずつ開催する。分科会の運営はコンピーナーに委ねることにし、コンピーナーは公募する。分科会にはだれでも講演を申し込めるが、その採否はコンピーナーの判断による（不採用の場合は、申込者の希望に応じてポスターへの振り替えあるいはキャンセルになる）。コンピーナーのアレンジによる招待講演も可能である。

時間割は概ね次のように考えています。アンケートでポスター・セッションと昼休みの時間不足が指摘されたことを考慮し、1997年度春季大会と比べてこれらの時間を長くし、代わりに分科会の時間を短くしてあります。

	第1日	第2日	第3日
09:00～12:00	ポスター	ポスター	ポスター
13:30～17:00	分科会	全体行事	分科会

今後のスケジュールは以下のように予定しています。

10月29日：分科会のテーマとコンピーナーの募集締切
（詳細は下記）

12月末：大会告示（「天気」12月号に掲載）

2月末ごろ：講演申込締切

3月前半：プログラム編成

補 足：

(1) 会期は1998年5月26日（火）～28日（木）、会場は気象庁とKKR 東京が内定しています。

(2) 1997年度春季大会における新方式実施の経緯については、以下の記事がありますので参考にして下さい【数字は巻（号）ページの順】。

- ・大会改革に関する意見募集：43(2)136
- ・大会実施方法のお知らせと分科会コンピーナーの募集：43(8)574
- ・大会告示と分科会の概要紹介：43(12)840
- ・理事長巻頭言「もっと議論を」：44(1)5
- ・ベストポスター賞のお知らせ：44(1)82
- ・特別招待講演のお知らせ：44(3)164
- ・大会プログラム：44(4)281
- ・大会報告、および新方式に関するアンケート結果：44(7)474
- ・ベストポスター賞の選考結果と受賞者の感想：44(7)476
- ・分科会の概要報告：44(7)479
- ・特別招待講演の概要報告：掲載予定

2. 分科会のコンピーナー募集

上記の実施方式に基づき、1998年度春季大会における分科会のテーマとコンピーナーを募集します。コンピーナーには、分科会の企画から実施まで全般にわたる世話を担当して頂きます。主な役割としては、

- ・テーマの立案、応募
- ・講演申込の受付、プログラムの作成（招待講演の設定、講演持ち時間の配分、座長の手配等を含む）
- ・大会当日の分科会の運営
- ・大会終了後の報告原稿作成（感想および400～800字のレポート）

があります。これらを円滑に進めるため、コンピーナーは分科会ごとに複数の方をお願いします。またプログラム編成期（1998年2～3月）には、講演企画委員会と常時連絡がとれるようにして下さい。

応募に当たっては、以下の点に留意して下さい。

(1) テーマは「メソ」「気候」のような漠然としたものではなく、実質的な議論を深めるといふ分科会の目的に沿うよう、テーマを絞り明確なコンセプトを持つものにして下さい。

なお、テーマは気象学全体のバランスを考慮して講演企画委員会が適宜調整し、理事会での承認を受けるものとします。

(2) 分科会の割り当て時間は13:30～17:00です。講演持ち時間はコンピーナーの判断に任せますが、1件当たり最低15分は確保して下さい。

(3) 招待講演も歓迎します。その内容は必ずしも original paper である必要はありません。招待講演者がすでに決まっている場合にはこれを「趣旨説明」に書くなど、申込者への情報提供を図って下さい。

(4) 分科会会場の収容人数はそれぞれ100~200人の予定です。

3. 申込方法

以下の事項を明記して郵便で申し込んで下さい。

1. 分科会のテーマ

2. 分科会の趣旨説明 (200~400字)

3. コンピーナーの氏名・所属および代表者1~2名の連絡先 (TEL・FAX および E-mail)

4. 分科会に講演を申し込む場合の郵送先

以上のうち、下線部は「天気」12月号に掲載されます。要望があれば TEL, FAX, E-mail も掲載します。

申込先：〒305 茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所予報研究部

講演企画委員会 (小泉 耕)

申込期限：1997年10月29日 (水) 必着



CEReS 国際シンポジウムの開催のお知らせ 「衛星データの大气補正とその地球環境への応用」

千葉大学環境リモートセンシング研究センター (CEReS) では下記の日程で国際シンポジウムを行います。今回は衛星データを利用したリモートセンシングにおいて基本的かつ重要な問題でありながら、まだ、十分な発展がなされていない大気補正の問題を取り上げます。本シンポジウムでは大気と陸域、海洋を含めた総合的な観点から検討致します。原理、手法、検証と全ての領域を対象として、モニタリングに基づいた基礎から環境現象への応用まで広いレンジに渡って、現状の展望から将来のあるべき方向まで、世界の最先端の研究者を招いて総合的に議論する予定です。奮ってご参加ください。

千葉大学環境リモートセンシング研究センター長
浅井富雄

記

日時：1998年1月28日 (水)~30日 (金)

会場：千葉大学けやき会館大ホール

講演募集：

一般講演を募集しています。テーマは衛星データの
大気補正に関する様々な研究を対象と致します。な

お、既発表の内容をまとめたものも歓迎致します。講演をいただける方は10月13日 (月) 迄に事務局までお知らせ下さい。E-mail でも結構です。4ないし6ページ程度のアブストラクトの締め切りは11月17日 (月) の予定です。詳細は Second Circular でお知らせいたします。First Circular をご希望の方は事務局までお知らせ下されば送付致します。

ワークショップ：

シンポジウム終了後の第3日 (1月30日) 午後より、国際ワークショップ「ライダー観測より導出された大気消散係数鉛直分布の精度」を開催します。

こちらについても併せて、ご参加を期待しております。

問い合わせ先：事務局)

千葉大学環境リモートセンシング研究センター

久世宏明

〒263 千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL：043-290-3838

FAX：043-290-3857

E-mail：hkuze@rsirc.cr.chiba-u.ac.jp